学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版世界史Ａ 新訂版　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々世界は大きく変化しています。あなたが生きている「今」を理解するためには、歴史を知ることが不可欠でしょう。世界史を学習することで、普段日本人があまり意識しない「世界の常識」を知ることができます。

まずは、今あなたが抱いている疑問の答えを探ることから世界史の学習を始めてみましょう。

２　学習の到達目標

・世界史の学習を通じて国際情勢の背景を理解する。
・歴史的思考力を培い、国際社会で活躍する者としての素養を身につける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	近現代史に関する関心と課題意識をもち、国際社会に生きる者として、国際理解を進める態度をもつ。	世界史の学習において文化の多様性やその国の特質を多面的に理解し、公正に判断し、その歴史的過程を適切に表現している。	近現代史の歴史に関する諸資料を収集し、正確な情報を選択して、図表等にまとめる力をもっている。	近現代史に関する基本的な知識を、地理的条件や世界と日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・定期考査 ・ワークシート ・授業態度 ・出席状況	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	歴史の概観	・文明	・文明のはじまり ・ユーラシア諸文明の特質 ・ユーラシアの交流	○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○ ○	a:ユーラシアに形成された諸文明の特質について、関心を深め、意欲的に追求しようとしている。 b: ユーラシアの諸文明と交流の特質を見出し、地域相互間の文化変容を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、情報の取捨選択をして、図表にまとめる。 d: ユーラシアの諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート
	主権国家の誕生	・アジア地域の繁栄と日本	・西アジア ・南アジア ・明、清帝国	○ ○ ○	 ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:アジア諸地域の繁栄の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b:アジア諸地域の繁栄を日本と関連付けて、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: アジア諸地域の繁栄の歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート

		・ヨーロッパの拡大と大西洋世界	・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家の誕生	○ ○ ○	○ ○	○ ○	 ○	a:ヨーロッパ地域の繁栄の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b: ヨーロッパ地域の特質と繁栄を、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: ヨーロッパ地域の繁栄の歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート
後期	国民国家と世界	・産業社会と国民国家の形成	・産業革命 ・フランス革命 ・アメリカ諸国の独立	○ ○ ○	○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a: 産業社会と国民国家の形成の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b: 産業社会と国民国家の形成を多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: 産業社会と国民国家の形成を理解し、知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート

		・世界市場の形成と日本	・市場の形成 ・ヨーロッパ諸国のアジア進出 ・20 世紀のアジアの動揺	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a: 世界市場の形成とアジアの動揺の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b: 世界市場の形成とアジアの動揺を多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界市場の形成とアジアの動揺について、その時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: 世界市場の形成を理解し、20 世紀のアジアの動揺の知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識･理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。